

城南地区河川流域浸水予想区域図

1. 城南地区河川流域浸水予想区域図について

(1) この図は、城南地区を流れる渋谷川・古川、目黒川、立会川、内川及び呑川の流域や、雨水が直接海域へ排水される区域等を対象にして、大雨が降った場合に、浸水が予想される区域と想定される最大の水深を示したものです。

(2) 皆様には、洪水の可能性について知っていただくことにより、「緊急時の水防、避難」、「水害に強い生活様式の工夫」等に役立てていただくようお願いいたします。

(3) この浸水予想区域図は、平成12年9月に発生した東海豪雨が「対象とした地域」に降った場合に、シミュレーションにより予測される浸水の状況を示したものです。シミュレーションでは、対象とした地域における現時点での河川、洪水調節池及び下水道の整備状況等を考慮しています。

(4) 浸水の予想される区域及びその程度は、雨の降り方や土地の形態の変化及び河川、下水道の整備状況等により変化することがあります。また、図中の「事業中等区域」は、今後土地の形態等が変化すること等から、浸水状況を表示していません。

2. 基本的事項等

(1) 作成主体 都市型水害対策連絡会
(城南地区河川及び江東内部河川流域)

(2) 作成年月日 平成19年7月30日 (一部修正)

(3) 対象とした地域 城南地区を流れる渋谷川・古川、目黒川、立会川、内川及び呑川の流域や、雨水が直接海域へ排水される区域等

(4) 対象とした降雨 平成12年9月 東海豪雨
(総雨量 589mm、時間最大雨量 114mm)

(5) 関係区市 港区、新宿区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、杉並区、三鷹市

3. 図面の見方のポイント

一般的に河川沿いは低地であるため、浸水したときの水深が大きくなり注意が必要です。また、河川から離れていても、青・緑色で示される場所では、地盤が低いため、浸水したときの水深が大きくなるので注意して下さい。

なお、表示は一辺が50メートルのメッシュ (区画) 単位になっており、水深はメッシュ内において最大の水深となる地点のデータで表示しています。

